

第 65 回 国際理解・国際協力・多文化共生のための全国中学生作文コンテスト東京都大会 銀賞

白百合学園中学校 2 年

楠 沙羅

課題②

複数の国で協力して、取り組むべきと考える優先課題は何か。

副題

なし

現在の世界では、国家間の対立や利害の衝突により、国際協力の必要性が叫ばれていながら、実現の難しさが浮き彫りになっている。経済的な利益の衝突、政治的な緊張、文化や価値観の違いなど、多くの要因が協力を妨げているが、それでも複数の国が力を合わせて取り組むべき課題は存在する。その中で私が最も重要と考えるのが宇宙開発である。

宇宙開発というと、アメリカや中国などの先進国が競い合っているイメージが強く、国家間の競争の象徴のように見えるかもしれない。しかし実際には、宇宙の研究は一国だけでは到底成し得ない、人類全体に関わる壮大な挑戦である。宇宙には、地球上では想像もできない資源や知見が眠っており、これらを活用することは人類の未来にとって重要な鍵となる。だからこそ、複数の国が協力して宇宙開発に取り組むことは、非常に意味深い行為だと言える。

宇宙の大きな特徴の一つは、国境が存在しないことである。地球上では国家間の境界が厳格と存在し、様々な対立を生んでいるが、宇宙にはそのような制約がない。この性質を活かして国際協力を進めることが、人類の平和と共存にとって重要な一歩になる。たとえば、国際宇宙ステーション（ISS）は、アメリカ、ロシア、日本、ヨーロッパ諸国などが共同で運営している象徴的なプロジェクトである。異なる国籍の宇宙飛行士たちが ISS でともに活動し、地球環境や宇宙科学の研究を進めている様子は、まさに国際協力の理想を体現している。

宇宙開発の意義は、科学技術の進歩にとどまらない。私たちの生活にも直接影響を与えている。例えば、地球温暖化や自然災害を監視するための気象衛星は、異常気象の予測や迅速な災害対応に不可欠な存在だ。これらの衛星データを各国が共有し合えば、より高精度な予測や被害の軽減が期待出来

る。台風や地震、津波などが発生した際には、宇宙からの観測情報が迅速な対応を可能にし、多くの命を守ることに貢献している。

さらに、地球の資源が限られている今、宇宙から新たな資源を得ることは、人類の存続に関わる課題である。月には希少金属や水資源が豊富に存在するとされており、将来的にそれらを活用する技術が確立すれば、地球の資源枯渇を補う可能性がある。また、火星への人類移住に関する研究も進んでおり、宇宙は私たちの「第二の故郷」となるかもしれない。しかし、このような取り組みには莫大な費用と高度な技術が必要であり、単一の国家が負担するのは現実的でない。だからこそ、資金や技術を持ち寄って共同で取り組むことが不可欠なのだ。

宇宙開発はまた、国家間の信頼関係を築く重要な手段にもなり得る。冷戦時代、敵対関係にあったアメリカとソ連が宇宙開発という共通の目標の下で協力し、ISSの共同運営を実現させたことは、その好例である。宇宙という大きな課題に向かって協力することで、地球上の対立を乗り越えるモデルを提示することができるのだ。

このように、宇宙開発は科学技術の向上、地球の問題解決、新たな資源の確保、そして国際平和の推進という多面的な意義を持つ。だからこそ、複数の国々が協力し、知識や技術、資金を共有し合いながら、共通の目標に向かって進んでいくことが求められる。宇宙開発は、人類全体が未来に向けて責任を果たすべき課題であり、そこには確かな希望があると私は信じている。